

## 薬剂学分野

### 論文

#### A 欧文

A-a

1. Nishimura K, Ogawa K, Kawaguchi M, Fumoto S, Mukai H, Kawakami S: Suppression of Peritoneal Fibrosis by Sonoporation of Hepatocyte Growth Factor Gene-Encoding Plasmid DNA in Mice. *Pharmaceutics* 13(1): 2021. doi: 10.3390/pharmaceutics13010115. (IF: 6.525)
2. Mastuo K, Kuriyama M, Yamamoto K, Demizu Y, Nishida K, Onomura O: Nickel-Catalyzed Hydrodeoxygenation of Aryl Sulfamates with Alcohols as Mild Reducing Agents. *Synthesis* : 2021. doi: 10.1055/a-1548-8362. (IF: 2.969)
3. Kodama Y, Tokunaga A, Hashizume J, Nakagawa H, Harasawa H, Kurosaki T, Nakamura T, Nishida K, Nakashima M, Hashida M, Kawakami S, Sasaki H: Evaluation of transgene expression characteristics and DNA vaccination against melanoma metastasis of an intravenously injected ternary complex with biodegradable dendrigraft poly-L-lysine in mice. *Drug delivery* 28(1): 542-549, 2021. doi: 10.1080/10717544.2021.1895904. (IF: 6.819)

A-b

1. Fumoto S, Yamamoto T, Okami K, Maemura Y, Terada C, Yamayoshi A, Nishida K: Understanding In Vivo Fate of Nucleic Acid and Gene Medicines for the Rational Design of Drugs. *Pharmaceutics* 13(2): 2021. doi: 10.3390/pharmaceutics13020159. (IF: 6.525)
2. Nishida K: Recent Advances in Lipid-Based Drug Delivery. *Pharmaceutics* 13(7): 2021. doi: 10.3390/pharmaceutics13070926. (IF: 6.525)

#### 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	0	2	1	20

#### 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
西田孝洋・教授	長崎県薬事審議会委員	長崎県
西田孝洋・教授	Pharmaceutics誌Editor	Pharmaceutics
西田孝洋・教授	代議員	日本薬剂学会
西田孝洋・教授	評議員	日本DDS学会
西田孝洋・教授	代議員	日本薬学会
西田孝洋・教授	理事	長崎県薬剂師会
西田孝洋・教授	高大連携推進委員	長崎県教育委員会
西田孝洋・教授	薬剂師研修協議会委員	長崎県薬剂師会
麓 伸太郎・准教授	超分子薬剂学フォーカスグループ 会計幹事	日本薬剂学会
麓 伸太郎・准教授	薬事情報委員会 委員	一般社団法人 長崎県薬剂師会
麓 伸太郎・准教授	評議員・代議員	日本薬剂学会
麓 伸太郎・准教授	役員	遺伝子・デリバリー研究会

#### 競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
西田孝洋・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C)「抗癌薬や遺伝子治療薬を併用可能な二層型シート製剤に基づく癌局所治療の最適化」
麓 伸太郎・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C)「遺伝子と薬物を搭載した脂質・炭酸カルシウムハイブリッドナノ粒子の開発」

麓 伸太郎・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(B)「がん組織内環境の多色深部イメージングおよび空間分布制御型DDSの構築」
麓伸太郎・准教授	持田記念医学薬学振興財団	代表	2021年度研究助成金「核酸およびタンパク質を搭載した人工エクソソーム製造技術の開発」
宮元敬天・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C)「低体温療法時における抗MRSA薬の投与最適化に向けた体内動態変動要因の解析」

## 特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
西田孝洋・教授	生体由来材料の透明化試薬	2018年2月22日	2022年3月3日	特許7033795
西田孝洋・教授	研磨剤を含有する核酸導入剤	2011年9月6日	出願中	特願2011-194260
麓 伸太郎・准教授	生体由来材料の透明化試薬	2018年2月22日	2022年3月3日	特許7033795
麓 伸太郎・准教授	研磨剤を含有する核酸導入剤	2011年9月6日	出願中	特願2011-194260
宮元敬天・助教	線維化誘導遺伝子の発現抑制剤およびその用途	2018年10月31日	出願中	特願2018-205632

## その他

### 非常勤講師

氏名・職	職 (担当科目)	関 係 機 関 名
西田孝洋・教授	客員教授	放送大学

### 学術賞受賞

氏名・職	賞 の 名 称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
麓 伸太郎・准教授	旭化成創剤開発技術賞	日本薬剤学会	本研究では、脂質構造を保持しつつpH調整が可能な新規組織透明化試薬Seebestを開発し、リボソームなどのDDS製剤の評価法として有益であることを示しました。さらに、脂質を用いたナノDDSを基盤として複数の薬物を共送達する技術を開発し、性質の異なる複数の薬物、タンパク質、あるいは遺伝子の体内動態を一致させることで、相乗効果を得ることや遺伝子導入効率を向上させることが可能なことを実証しました。Seebestでは多色深部観察が可能であるため、複数の薬物・タンパク質・遺伝子の組織内空間分布を同時に可視化できることが期待されます。